

お腹なかごもり観音かんのん

館に字「堂の下」という地名があり、そこに、むかし觀音堂がありました。

しらひげの洪水のときに、この觀音堂も流されてしまいました。

現在の館觀音堂の北西約三百メートルのところに、字館の下という地名があります。俗に、七兵衛屋敷しちべえやしきといつておりますが、そこに、どてがあり、堀がありました。今もその一部が残つております。

そのどての上に、稻荷さまをおまつりしておりますが、その稻荷さまの近くに大きな杉の木がありました。この杉は、まわりの雑草よりも、一段ぬけあがつていたので、少し離れたところからもよく見え、

「あれは、館の七兵衛屋敷しちべえやしきの杉の木だ。」